

2026 年度 進歩賞の受賞者について

2026/8/4

日本核磁気共鳴学会会長 伊藤 隆

選考委員会での厳正な審査の結果、2026 年度（第 7 回目）の受賞者は、以下の 2 氏が選出されました。

今井 駿輔 氏（理化学研究所）

高磁場 NMR と CryoEM を融合した高度な構造解析を展開し、機能発現機構解明や創薬応用へつなげた先導的な業績が高く評価されました。

古板 恭子 氏（京都大学）

単一スキャン ^{13}C 測定法や CSP 定量評価ソフトの開発など、測定手法から解析まで幅広く手掛け、NMR 研究の基盤強化に長年貢献してきた点が高く評価されました。

第 65 回 NMR 討論会の第 2 日（2026/10/22）午後、受賞者の表彰式と受賞講演を実施します。

進歩賞授与規定の詳細につきましては下記をご覧ください。

https://www.nmrj.jp/index.php?page=support_shinpo